

改訂化学の新演習 正誤表 1刷用

【注】「電子(e) 吸引(性・力)」→「陽子(p) 吸引(性・力)」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。

ページ	問題番号など	訂正行	訂正前(誤)	訂正後(正)
本冊	14	21 (2)	---	(文末に追加)
本冊	24	42 (4)	1行目	存在割合が2番目に少ない
本冊	30	---	ページ欄外	存在割合が3番目に多い
本冊	32	---	ページ欄外	$10 < \sup > 3 < / \sup > - 3 < / \sup >$
本冊	34	---	ページ欄外	$10 < \sup > 3 < / \sup > - 3 < / \sup >$
本冊	36	63 (3)	---	(文末に追加)
本冊	46	84 (6)	1行目	(nm)
本冊	48	87	22行目	混合物(共晶)のみが析出する
本冊	48	87	25~26行目	すべて固体で、氷とNaCl・2H₂Oの含水塩が共存する範囲であり、~NaCl・2H₂Oの含水塩と共晶の共存する範囲である。
本冊	69	128 (5)	2行目	相対湿度
本冊	70	129	反応式の左辺	+K⁺
本冊	70	129 (1)	---	(冒頭に追加)
本冊	71	---	ページ欄外	(ページ左上に追加)
本冊	71	131 (4)	1行目	NH₄Cl水溶液100mLを
本冊	72	132	11行目	下の(3)
本冊	72	132 (2)	---	モル濃度
本冊	74	---	ページ欄外	(ページ右上に追加)
本冊	84	157	14行目	[CO₃]²⁻]
本冊	86	160 (2)	---	2Cl₂⁻
本冊	100	185	10行目	(気体定数の式に追加)
本冊	103	189	1行目	9.65
本冊	104	190	8行目	<i>E</i>⁰
本冊	104	190	9行目	また、2つの金属の
本冊	104	190	15行目	1mol/Lの場合の値(これを標準起電力という)であり、
本冊	104	190	20行目	() 内に追加)
本冊	104	190	表左列	H₂⁺
本冊	104	190	表右列	標準起電力
本冊	104	190	表下	<i>E</i>⁰ の値が高い金属ほど
本冊	104	190 (1)	1行目	次の電池の起電力
本冊	113	205 (問)	4行目	Si=24
本冊	151	267 [B]	Dの構造式	(右側のOHとH)
本冊	211	364	2行目	単量体は
別冊解答	2	1 解説(4)④	全文	同族元素のイオン半径は、原子半径と同様に説明できるが、同周期元素では、ふつう1, 2, 13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるので、この順にイオン半径は小さくなる。16, 17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるので、この順にイオン半径は大きくなる。つまり、原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。
別冊解答	17	21 解説(2)	1行目	平面状に取り囲む
別冊解答	28	40 解説(3)	7行目	[mol]
別冊解答	28	40 参考	23行目	(式中の数字2か所) 4
別冊解答	29	42 解答(4)	---	2.6%
別冊解答	29	42 解説(4)	1~6行目	2番目に存在割合の少ないBCl₃分子は、存在割合の少ない¹⁰-Bを含む。(3)の考察より、③と④では、0.76×3>0.24より、③>④。よって、2番目に存在割合が少ないのは、¹⁰-B³⁵-Cl³⁷-Cl²である。その存在割合(%)は、0.20×0.76×(0.24)2×3×100=2.64(%)
別冊解答	43	65 解答(3)	---	5.6g
別冊解答	43	65 解説(2)	4・9行目	52.4
別冊解答	43	65 解説(2)	10行目	42.88
別冊解答	43	65 解説(3)	5行目	52.4
別冊解答	43	65 解説(3)	6行目	5.6
別冊解答	70	102 解答(3)	---	7.0 (cm)
別冊解答	70	102 解説(3)	5~6行目	(0.500/80) : (0.400/40) = 4.40 : z ∴ <i>z</i> = 7.04 ≈ 7.0 (cm)
別冊解答	91	132 解説(2)	7行目	モル濃度
別冊解答	106	157 解答イ	---	2.0 × 10⁻³
別冊解答	107	157 解説(ii)	8行目	1.21 × 10⁻²
別冊解答	107	157 解説(ii)	9行目	2.01 × 10⁻³
別冊解答	112	163 解説(2)	5行目	KMnO₄⁻
別冊解答	112	163 解説(2)	7行目	C₂O₄²⁻
別冊解答	113	164 解説(1)	4行目の反応式右辺	O₂²⁻ + 2H₂⁺
別冊解答	129	187 解説(6)	7行目	4.05
別冊解答	131	190 解説(1)	6・19行目	電池
別冊解答	131	190 解説(2)	5行目	電池
別冊解答	131	190 解説(3)	2行目	希釈直後は
別冊解答	131	190 解説(3)	13行目	この電池反応のイオン反応式は
別冊解答	131	190 参考	3・5行目	電極電位
別冊解答	131	190 参考	0	この電池反応のイオン反応式が
別冊解答	140	200 解答(3)(b)	---	褐色
別冊解答	141	202 解答(3)	2~5行目	NOとともに予想される。
別冊解答	151	216 解答(4)	---	10.2
別冊解答	152	216 解説(4)	8行目以降	(差し替え) ∴ [OH⁻] = 2x = (2/√2) × 10^{-11/3} = 2^{-11/3} × 2 × 10^{-11/3} = 2^{-22/3} × 10^{-11/3} × 10^{-11/3} = 2 × 10^{-22/3} × 10^{-11/3} = 2 × 10^{-33/3} = 2 × 10⁻¹¹ pOH = -log₁₀[OH⁻] = -log₁₀(2 × 10⁻¹¹) = 11 - log₁₀2 = 11 - 0.301 = 10.699 pH + pOH = 14 より pH = 14 - 10.699 = 3.301 ≈ 3.3
別冊解答	188	254 解説	左段6行目	(2)
別冊解答	188	254 解説	右段13行目	(行頭に追加)
別冊解答	211	276 解説	10行目	アセトンが生成する。
別冊解答	230	299 解答(2)	---	グリブアル樹脂
別冊解答	231	299 解説(2)	反応式の説明文	グリブアル樹脂
別冊解答	302	369 解答(2)	---	2) 2R-SO₃-H + CaCl₂ ⇌ (R-SO₃)₂-Ca + 2HCl 0.2mol/L

で囲まれた部分は以下のような文字です
下線 <u></u>
イタリック <i></i>
太字
上付き
下付き